



団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
大野北公民館利用 サークル協議会	大野北地区活動団体連 携強化事業	公共的な活動への参加者増加	大野北公民館利用サークル協議会では、昨年実施した「復興チャリティ交流会・学習会」の成果を踏まえ「東日本大震災から16ヶ月...これからの暮らしを考える」をテーマに講演会・学習会を開催した。 参加者は80名であった。	社会教育を通じて、地域課題や生活課題をテーマに新しいまちづくり、地域づくりのための学習機会を提供し、継続的な取り組みを地域の方々に発信することができた。	講演会・学習会を通じて、今後のエネルギー政策や節電への取り組みについて、地域の方々に情報発信することが出来た。参加者へのアンケート調査を実施し、今後の事業展開の参考とする。	H24.6.4	50,000
自治会法人淵野辺 自治会活性化委員会	自治会活動活性化事業	今年度は自治会館の建替えがあり、昨年まで実施していた事業、特に自治会館で実施していた各種教室(パソコン、そろばん、書道など)が困難である。このような限られた条件の中で、誰もが参加できる自治会活動を展開するとともに、加入促進PR活動(ポスターの作成や自治会未加入者世帯に活動加入促進パンフレットを配布(16班各班長))を行うことにより、自治会更に地域の活性化を図っていくことを目的とする。	平成24年6月中旬からの自治会館の解体により恒例となった鯉のぼり、七夕飾り、盆踊り、缶炊飯(防災訓練)等の事業が全て遂行できたことで、今まで以上の団結力を強く感じた1年であった。また、盆踊り会場他で自治会加入促進キャンペーンとしてPR活動を行った。更に約90世帯の未加入世帯に加入促進のPRチラシのポスティングを行った。	近隣自治会から注目されるまでになり、気楽に参加できる行事も恒例となり、幼稚園児から高齢者まで幅広い顔の見える自治会になったと思う。淵野辺自治会でよかったという声も聞かれた。	平成25年10月に新自治会館の完成後は、一時中断していたパソコン、書道、そろばん他の教室の復活と高齢化に伴う現状を踏まえ、元気な体作り教室など孤立している高齢者の取り組みも本委員会を中心に新自治会館をいつ行っても仲間がいる憩いの場(サロン)として活用できる集会所にしていきたい。	H24.6.19	42,000
淵野辺・矢部盆栽愛好会	地域盆栽講習会事業	盆栽の植替えや剪定等のメンテナンスをとおして、地域貢献に寄与する。また、盆栽の魅力を地域の方々に伝え、新たな会員の加入を促進して、後継者の育成につなげて行きたいと考えている。	大野北公民館まつりや大野北市民まつりにおいて、地域住民が所有している盆栽の剪定や植替えなどの指導を行った。 ・公民館まつり(7月7日・8日)...約50名 ・市民まつり(10月14日)...約20名 ・講習会(6月~3月(2月除く))...数名	指導した方から、喜んでいただき、今後も続けて欲しいとの声が寄せられた。	活動を通じて、地域の方に喜んでいただき微力ながら地域へ貢献ができているものと感じている。	H24.6.28	10,000

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
大野北銀河まつり実行委員会	地域をつなぐ 大野北銀河まつり	<p>地域が一丸となって、実施することを目指し、名称を「大野北銀河まつり」と改称し、参加団体に地域の一員だということ認識してもらい、地域への各種活動への参加意識を持ってもらうことが、安全・安心まちづくりにつながるのと思えます。また、地域のふるさとづくり、人づくりに寄与するとともに地域住民のふれあいや交流の機会をつくりことを目的としております。</p>	<p>8月4日・5日の2日間に渡り開催した。今年、地区社協、地区民児協、地域の各種団体が参加し、名称を「大野北銀河まつり」に改称し、会場も大野北地区のシンボル公園とも言える鹿沼公園で開催した。メインステージでの地元団体・各種サークルによるダンスや演奏の競演、そして、模擬店やフリーマーケット・各種団体のPRブースなどが出展され、昨年よりも賑わいをみせた。また、麻布大学をはじめ学生サークルの協力により会場並びに会場周辺のゴミはきれいに片付けることができた。</p>	<p>今年、更に地域の絆をより一層深め、地域住民が誇りに思うイベントにするべく地区社協、地区民児協、地域の各種団体が参加し、地域に根ざしたイベントにするということ思いが一層強くなったこと。また、参加者が企画の段階からいろいろな人とふれあい、協力し合い地域の絆を深めることができたことが事業効果であると考えます。</p>	<p>今年、名称を改称し、会場も開催場所地域に根ざしたイベントにするという第一歩を踏み出すことができた。今後も、大野北地区を代表するイベントとなるよう努力していきたい。</p>	H24.6.28	1,600,000
スポーツ推進委員大野北地区協議会	大野北地域の生涯スポーツをととしてのコミュニティづくりと健康づくり増進事業	<p>ハイキングを通して地域コミュニティの構築に少しでも貢献できればと思えます。</p> <p>また、山へ登ると同じ目的を持った者同士で、達成感を味わうことが連帯感につながり、自らスポーツすることへの関心が高まるきっかけとなり、更には、新しいハイキングを楽しむクラブなどの発足につながって欲しいと期待します。</p>	<p>1. 概要 箱根金時山への登山ハイキング 2. 実施日 平成24年11月11日(日) 3. 参加者 総人員 35名(一般市民27名 スポーツ推進委員8名) 4. 内容 大野北公民館から、金時山登山口までバス移動し、頂上に登りふもとの乙女峠に下山し、再びバスで帰着する。</p>	<p>1. 全員無事に楽しく完歩出来た。 2. 参加者年齢が60才以上が大半であり、普段出掛けたくても一人では行けない人達のように、大変喜んで貰えた。 3. リフレッシュ出来たようで、健康増進の向上に寄与出来たと考えます。 4. よって、スポーツ推進委員としての役割が果たせたと考えます。</p>	<p>今回2年目の取り組みであったが、事故も無くバス利用の点を引いても、行きたいという、潜在意識の掘起しにつながり健康意識向上という初期の目的は達成出来たと思えます。</p> <p>なお、11月29日「大野北四季の会」を16名で設立する事が出来、今後も標記のようなアウトドア活動を継続してゆきたい。</p>	H24.8.1	80,000
共和憩いの会	憩いの場(生きいきの場)運営事業	<p>少子高齢化が進み、高齢者像や高齢者観が変化し、今までの福祉の担い手から地域での高齢者福祉の担い手としての役割が求められてきている。そうした背景から、新たなグループ活動として、「憩いの場」を設け、既存の趣味サークルの活動実績を活かしながら、地域住民が自由に参加できる場づくりを行い、住民間のつながり、絆を深め、地域の活性化を図ることを目的とします。</p>	<p>毎月第2火曜日憩いの場(共和自治会館)と定め10回実施 ・参加者 延べ 173名</p>	<p>事業開始以来3年が経過しました。動員数は増員できませんでしたが、ほぼ一定の参加者が3年間継続して活動できたこと、また、今年度は外部の講話など取り入れ、前向きな組織作りが定着した。これから先、既存の活動グループ等とのつながりを深め、憩いの場の目的である地域活性化のための一歩ができた。</p>	<p>憩いの場の組織作りに多くの時間を要しながら、第1歩を踏み出せた。この先大勢の地域住民が参加できる場を更に広げ、つながり、絆を深め事業を充実させていきたい。</p>	H24.9.19	10,000

